

1 国語科の目標



- (1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身につけさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身につけさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身につけさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 具体的な目標



- (1) 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすることができる。
- (2) 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うことができる。
- (3) 表現の仕方を工夫して、詩歌を作ったり、物語の続きを書いたりできる。
- (4) 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くことができる。
- (5) 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて説得力のある文章にすることができる。
- (6) 社会生活に必要な手紙を書くことができる。
- (7) 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について、感想を交流することができる。
- (8) 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について、自分の考えを述べることができる。
- (9) 新聞やインターネット、学校図書館等の施設を活用して得た情報を比較することができる。
- (10) 作品の特徴を生かして朗読などをし、古典の世界を楽しむことができる。
- (11) 1学年までに学習した常用漢字の読み書き、2学年で学習した漢字を読むことができる。
- (12) 字形を整え楷書で文字を書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くなどできる。

3 【国語科の評価の観点と評価の方法】

観 点	具体的な評価の観点	評価方法
○知識・技能	・伝統的な言語文化・言葉の働きや特徴 ・語句語彙・言葉のきまり・漢字・書写など	プリント・ワーク 小テスト・定期テスト
○思考力・判断力・表現力等	・話題設定や取材・話すこと ・聞くこと・話し合うこと	スピーチ・聞き取りテスト 授業時の発言等
	・課題設定や取材・構成・記述 ・推敲・交流（読み合う・手紙）	作文・小作文 小テスト・定期テスト
	・語句の意味の理解・文章の解釈 ・自分の考えの構成・読書と情報収集	テスト・授業時の学習課題への取り組み
○主体的に学習に取り組む態度	・学習課題に進んで取り組もうとする ・言語生活を豊かにしようとしている	授業の態度・宿題 プリント・ワーク

4 国語科の家庭学習のポイント



- ① 新出漢字や新出語句の意味を調べて、語彙数を増やしていきましょう。
- ② ワークやノートのみまとめ直しをして授業の復習をし、漢字も確実に覚えましょう。
- ③ 問題集の中の同じジャンルで異なる文章の問題を解いて、読解力をつけましょう。
- ④ ふだんから、活字に慣れることが必要です。新聞のコラム欄を読み感想を書きましょう。

5 【使用教材】

教科書 教育出版 『伝え合う言葉』
 副教材 『国語の学習2』《ワーク》（明治図書）／ 『すらすら基本文法』（浜島書店）
 『国語便覧（埼玉県版）』（浜島書店）／ 『漢字の反復練習』（浜島書店）
 『単元別漢字マスター』（学宝社）

単元・教材（2年生の学習内容：140時間）

	単元と学習の内容	学習のねらい（一部を示す）
前 期	1 単元「学びを広げる」 オリエンテーション ・ 詩歌「虹の足」 ・ いろいろな立場や考えを踏まえる ・ タオル ・ 文法の小窓1 活用のない自立語 ・ 新聞の投書記事を書く ・ 漢字の広場1 まちがえやすい漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語の学習の約束を確認し関心をもつ。 ・ 詩の表現のおもしろさをとらえ、読み味わう。 ・ 積極的に「聞く」ことをとおして、自分の考えを広げる。 ・ 描写の効果や登場人物の言動に着目し、読み深める。 ・ 活用のない自立語を理解する。 ・ 社会生活の中から題材を選んで書く。 ・ 似た形やまちがえやすい漢字について理解を深める。
	2 単元「論理を捉える」 ・ 日本の花火の楽しみ ・ 水の山 富士山 ・ 硬筆を書こう（横書きの楷書） ・ 言葉の小窓1 敬語 ・ 手紙・メールを整える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ・ 説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ・ 字形に注意し、落ち着いた気持ちで作品を仕上げる。 ・ 敬語のはたらきや特徴について知る。 ・ 相手に応じて適切に言葉を選び、書く内容を整理する。
	3 単元「自己をひらく」 ・ 夢を跳ぶ ・ 言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 ・ 相違点を明確にして伝える ・ SNSから自由になるために ・ 脚本で動きを説明する ・ 漢字の広場2 漢字の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた情報の中から適切なものを選び、考えをまとめる。 ・ 話し言葉と書き言葉の特徴を捉える。 ・ 図表やグラフなどを用いて、わかりやすく伝える。 ・ メディアリテラシーについて考える。 ・ 小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書き換える。 ・ 漢字の成り立ちについて理解を深める。
	4 単元「情報を捉える」 ・ 持続可能な未来を創るために ・ 紙の建築 ・ 構成を明確にして説明文を書く ・ 文法の小窓2 活用のある自立語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。 ・ 事例と主張を関連づけて読み、筆者の考えを捉える。 ・ 考えの理由づけをして、意見文を書く。 ・ 用言の活用と種類・用法を理解する。
後 期	5 単元「古典を楽しむ」 ・ 敦盛の最期一平家物語 ・ 随筆の味わい一枕草子・徒然草 ・ 二千五百年前からのメッセージ ・ 坊ちゃん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の言動や心情を話し合い作品の理解を深める。 ・ 古人のものの見方や考え方に対し自分の考えをもつ。 ・ 表現を確かめながら内容について自分の考えをまとめる。 ・ 近代の小説や物語を読む。
	6 単元「想像を広げる」 ・ 短歌の味わい ・ 夏の葬列 ・ 映像作品の表現を考える ・ 漢字の広場3 漢字の多義性 ・ 書きぞめを書こう（行書）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情景や心情を掘り起こし声に出して短歌を読む。 ・ 人物の描写や人称代名詞にの役割や効果を理解する。 ・ 絵コンテとマンガの描写の違いを理解する。 ・ 漢字の多義性についての理解を深める。 ・ 正しい字形、筆遣いに注意しながら、作品を仕上げる。
	7 単元「関係を考える」 ・ ガイアの知性 ・ 確かな根拠を元に意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然や知性に対する筆者の考え方をもとに考えをまとめる。 ・ 情報がわかりやすく伝わるように文章や見せ方を工夫する。
	8 単元「考えと向き合う」 ・ 学ぶ力 ・ 様々な考えを踏まえ討論をする ・ 社会生活とコミュニケーション ・ 文法の小窓3 付属語のいろいろ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識や体験と関連付けて自分の考えをまとめる。 ・ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。 ・ 言語コミュニケーションについて考える。 ・ 付属語にはどのようなものがあるかを知る。
	9 単元「表現を味わう」 ・ 豚 ・ 走れメロス ・ 言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語 ・ 連作ショートショートを書く ・ 漢字の広場4 同音の漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。 ・ 登場人物のものの見方について知り、自分の考えをもつ。 ・ 日常生活で使う言葉を、いつもと違う視点で捉え直す。 ・ 構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果を考える。 ・ 同音の漢字についての理解を深める。